

コロナ後の 航空貨物のあらたな展開

参加無料

日時 2024年3月28日(木)
14:00~17:00 (13:30 開場)

会場 慶應義塾大学 三田キャンパス
北館1階ホール (東京都港区三田2-15-45)
*WEB同時配信: Zoomウェビナー

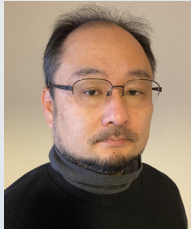
わが国は島国であり、海運と空運がなければ、人とモノは運べません。航空貨物は国際貿易のうち、量ベースでは1%に満たないのですが、金額ベースでは28%(2023年)を占め、今後も高価格製品や急送品を中心に一定のニーズがあるでしょう。コロナ禍で大きな打撃を受けた旅客輸送とは対照的に、貨物輸送は大きな恩恵を受け、航空会社のなかでも気を吐いていたのはご承知の通りです。また、2024年問題といわれるトラックドライバー不足を受け、一部ではトラックから航空へのシフトも始まります。

基調講演では、空運業に比べてはるかに長い歴史をもつ海運業を取り上げ、海上コンテナと航空貨物の一部には競合があり、コンテナ輸送の市場動向は航空貨物にも影響を与える点など、両者の関係に焦点をあてながら、今後の航空貨物市場や政策への示唆を頂きます。その後のディスカッションでは航空会社と空港会社から、航空貨物の現状や各社の取り組みをご紹介いただき、航空と空港の両面から航空貨物の今後を展望したいと考えております。

第1部

基調講演

総司会



『2020年代の海上コンテナ輸送と航空貨物』

松田 琢磨

拓殖大学商学部 教授



手塚 広一郎

日本大学経済学部 教授
航空政策研究会 理事

第2部 15:20~

パネルディスカッション

モデレーター



加藤 一誠

慶應義塾大学商学部 教授
航空政策研究会 理事/事務局長



宮原 輝雄

株式会社ANA Cargo
取締役



森本 義規

株式会社JALカーゴサービス
代表取締役社長



宇野 茂

成田国際空港株式会社
執行役員
営業部門貨物営業部長



星加 俊史

日本通運株式会社
関東甲信越ブロック
フォワーディングビジネスユニット
国際航空貨物統括部長

参加申込

当会ホームページ下記URLよりご希望の参加形式にご登録ください。 申込締切: 3/25(月)

【会場参加】 <https://www.koseiken.jp/symposium/会場参加ーシンポジウムー/>

【WEB参加】 <https://www.koseiken.jp/symposium/web参加ーシンポジウムー/>